

令和4（2022）年度 資源評価調査状況報告書（新規拡大種）

ブロック：日本海ブロック

ケガニ

| | | | |
|----|---------|------|---|
| 海域 | 日本海北・中部 | 参加機関 | 水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、青森県産業技術センター水産総合研究所、秋田県水産振興センター、山形県水産研究所、新潟県水産海洋研究所、富山県農林水産総合技術センター水産研究所、石川県水産総合センター |
|----|---------|------|---|

(1) 調査の概要

- ・水産資源研は生物情報の収集、各県の漁獲情報の集約を実施。また、日本海北部において標本船調査（体制構築含む）を実施
- ・各県は漁獲統計の収集を実施

(2) データ収集状況

- 各機関により、令和2年度評価で用いた情報に加え、以下の通り情報収集を実施した
- ・青森県では主要21港（日本海側～陸奥湾）の2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・秋田県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・山形県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・新潟県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み。2018年以前の月別漁法別漁獲量は精査中
 - ・富山県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・石川県では主要10港の2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・水産資源研では各県調べの漁獲量を集約した。また、日本海北部における標本船調査（体制の構築を含む）を関係県とともに実施

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和2年度評価報告書を参照
- (2) 年齢・成長：令和2年度評価報告書を参照
- (3) 成熟・産卵：令和2年度評価報告書を参照
- (4) 被捕食関係：令和2年度評価報告書を参照

(4) 備考

- ・本海域における生物特性を調べるのが重要
- ・日本海北部における標本船調査でのデータ蓄積がさらに必要